



**予防歯科でずっと健康に！  
歯科医療を通じて社会貢献**

休養中の先生が見いだした答え、それは「楽しいこともしんどいことも、健康が大前提」ということ。歯科の観点でいえば、元々重視してきた予防歯科、口腔内の環境改善・健康維持の徹底が必要と感じたそう。 「まずは体の健康、お口のこととは二番でも良いですが、歯も健康の一部です。自然治癒は

歯科ではあり得ない訳ですから、定期検診の必要性を、声大にして伝えたい。歳を重ねても、何でも食べられて噛める人は足腰も強く元気です。好きな近くの歯医者さんでいいんです。重症になる前にぜひ門を叩いてほしい」。一人ひとりの健康の先に先生が見据えるものは、歯科を通じた社会貢献。立ち止まり得た新たな目標を胸に、スタッフともより一丸となり、邁進していく。

## スタッフさんの声

ここの魅力はスタッフ皆が明るく和やかなこと。チームワークも抜群で、院長が入院した際も皆で助け合うことができました。普段から全員で取り組む姿勢の大切さを説く、院長のリーダーシップのおかげだと思います。また院長はとて「太っ腹」。なぜかという、私はこの春から1年間海外へ留学するのですが、「行っておいで、待ってるから」と言ってくれたんですね。大きく受け入れてくれる院長に、とても感謝しています

歯科衛生士 太田さん



対話を重視した全員参加のミーティング。研修会なども原則全員参加で、知識と技術の習得に余念がない

## プロフィール

O型 / 山羊座 / 朝日大学歯学部卒 / 神戸市出身

## 趣味

グルメ探索です。北区の歯科医師会の若手のドクター4~5人と「こがめ組」を結成し、「ハトロール」と称しては美味しいグルメを食べ歩いています(笑)情報交換を兼ねたコミュニケーションにもなり、またリフレッシュにもなるので、いつも楽しみです

## 休日の過ごし方

腰を痛めてから、腰痛の本を買ってストレッチを実践してみたり、体重に気をつけることができました。健康オタクになった気がします

## Doctor's Profile



学会で新型インフルエンザウイルスへの効果も発表された殺菌水「パーフェクトベリコ」を導入



同院の医療方針や日々の心構えをまとめた「 credo」は、意思疎通のツールとして役立っている

**協力と信頼で結ばれた絆  
院長不在でも不屈のチーム**

先生が復帰したのは2010年の9月初旬。20名以上のスタッフが在籍する大所帯のこがめ歯科だが、先生が不在の間、特に大きな問題もなかったというから頭が下がる。「スタッフ皆が協力してくれたおかげ。尊敬しています」。しかしこれは偶然ではなく、普段より徹底してきたチームプレイが功を奏した形だろう。スタッフ皆がやりがいを持ち、明るくなる環境を創ることが、結果的に患者さんの喜びに繋がっている、その考えが根底にある限り、院長不在でも患者さんに影響することはない。その信頼感こそが、口コミや紹介が多い理由でもある。